寶語教童子教

寶語教童子教

林道春天

全

實語教童子教

實語教を弘法大師社御作なりといふ大師は讃岐國
多度郡屏風の浦の人なり父は佐伯氏母は阿刀氏也
童子教は慈覺大師の弟子安然和尚なる人なり此人西
の系社麹屋の子千五人學せんと此書を作著し授給し
世よ善く行はるゝ白居易の作なりと云ふ俱舎論
釋氏要覽曰自七歳十五歳迄童子と云云

實語教繪抄

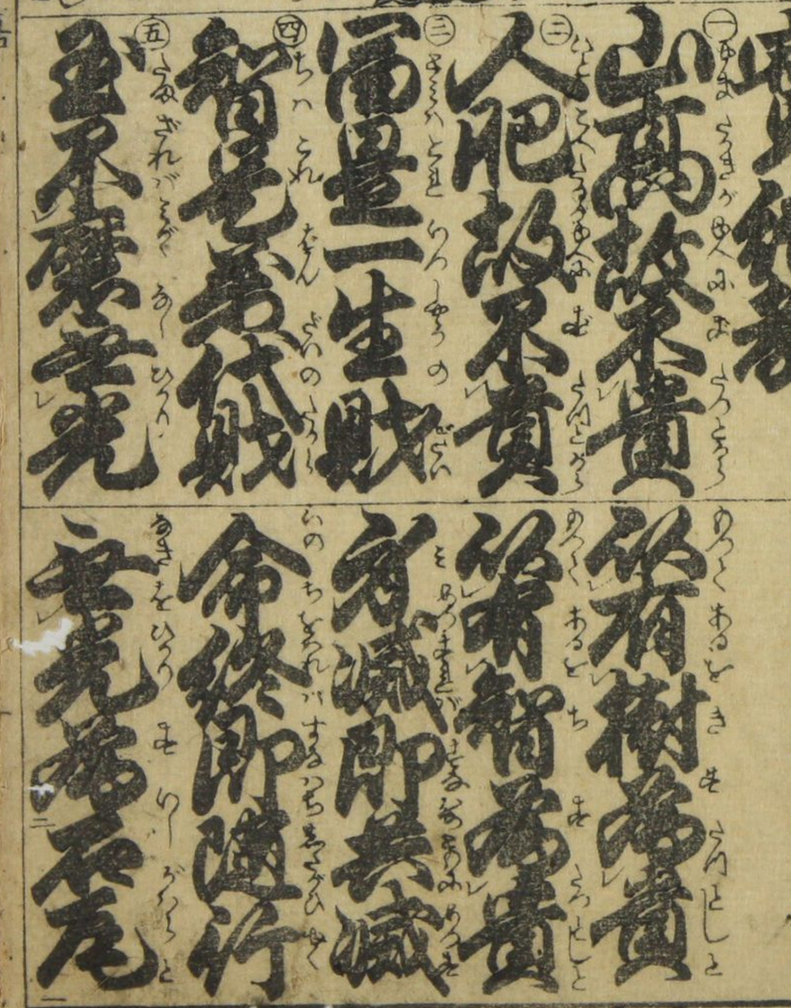
一 みちくさのたとへ
みくまの道のあること
えだ山ちかの月
とりべやま
たくさん

二 人はえ
なるとかること
たとへ
みなのあるを
いそがしとこそ
いへ

三 ふるきに一生をうの
人をたのもし
がりのんまり
人をたのもし
とうるを

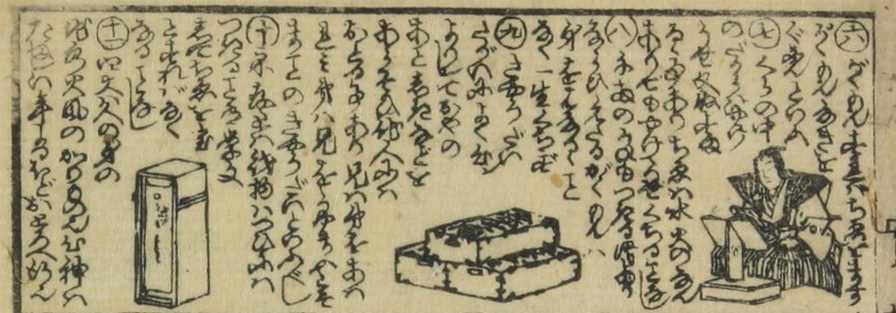
四 ちまたのちくいなぶくの
めのとうるあり
ちまたのちくいなぶくの
人の
いとうるる又を
きく人はこれ
ちまたのちくいなぶくの
せのうるとの

五 まもるべきもののうちとあるし
人のこゝろ
あたらあるを
ちまたのちくいなぶくの
せのうるとの



一 有文と記るの棚行とひろ
あらせそ まゝ成さとし 初記

和漢文庫



(六)ぐりん　(七)くらのすけ　(八)わあのうのつ　(九)さあろうぐん　(十)ふあ　(十一)ひとのかたちをしたかみがみ

(六)金學世間
(七)貧困戰有朽
(八)雖積千萬金
(九)兄弟不合
(十)財物不存
(十一)四大同一體

(十)世間ニ戰ハ朽ル物ニ
(十一)不如一月學
(十二)兄弟ハ合ヲ
(十三)財物ハ存ル物
(十四)人間ハ神夜ト晴

(十五)をさのたいきぐりん　(十六)ぎのうのもん　(十七)ろむしと　(十八)みたいのうせんこと　(十九)ふたりのこと　(二十)ものくとしていると　(二十一)ふまれてもふまれてもまたのこと　(二十二)えんこのちいさきものとのこと　(二十三)ものしりの人のかくあるべきこと

(十二)如特不物學
(十三)尚世有西蓋
(十四)學文者意時
(十五)西國孤終月獨
(十六)徒如肉市人
(十七)只如行藏賊
(十八)雖讀書如侍
(十九)除眠通疾痛
(二十)飛鳥師不學
(二十一)雖讀書不懷
(二十二)老子愛智者

小人愛福人
福者戰人者
酒肉貪賊門
宛如泥中蓮
師君如月明
丈夫橋如龍

雖人富貴家
猶如燈下光
福有智人者
父母如天地
親族愛親類
父母孝朝夕

師君仕奉疾
己兄愛續類
人而之智者
人而世者者
不交之學友
不孝富貴松

交友切作事
己弟敬老類
不異於木石
不失於富生
仍進七覺林
雖海入若海

八正道涅槃
世樂雖樂
數老如父母
我敬他人者
已敬人親
敬達已老者

十惡人不法
放逸常不遊
愛幼如子弟
他人亦敬我
人亦敬己親
先令達他人

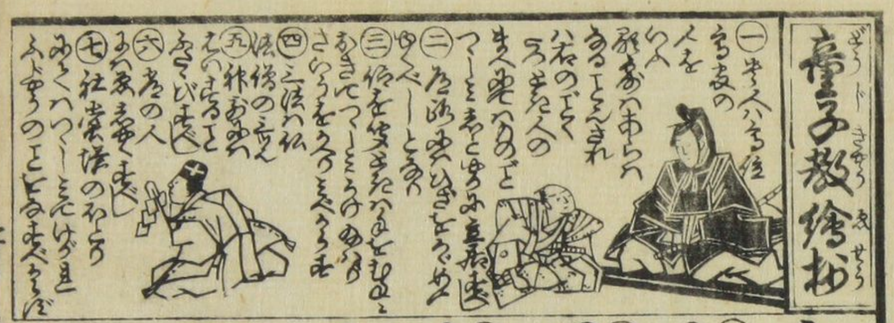
鬼他人之穢
闇他人之喜
鬼善者速行
好惡者招禍
修善者福來
雖富如忘貧
源貴如忘賤

即自共可患
則自共可悅
鬼惡者如逆
怪如雷響高
宛如遇仇敵
或怕富修貧
或先貴後賤

(三) 考夫の法者とかかあ
さこせんちの子の用
あたまろけのの子
(三九) 去業いろ人
ひくるこのげのやり
むろ男女
どりのとろ
ひとしてること
ろくちのげへ
の分一ろり形へ
ひろくあるろろ子るこん
(四) 食あるとハ法あり考ろく
子をまるのす
さるくまろり
ろくあるこんろ
(四一) 農業と
こまるろ子る
ろくものをく
ゲまろくあんを
ものさん子く
つこあまを
しのひま
ゆもくく
りんとあろ
ひそころ
ゆ人この出の
あ人へのこく
つしこまりべきこ子

文羅閣易忘
又易学雅忘
但有食有法
(四一) 桶不忘農業
故未代学者
是学問之始
實倍教修

(三八) 音聲之法文
(三九) 書筆之博藝
亦有免有命
(四〇) 所奥儀学文
先々業此書
免終奥意失



(一) 考人ハ子ら法
ら友の
人を
ひく
教あいあらハ
ろるこんれ
ハ右のごく
ろ考ろ人の
考人考ハのご
つ一こ考とゆろ考嘉考
(二) 考ゆ考ひきをゆ
ゆく一一とろ
(三) 法を法考ハとも
あきてつ一ころの考
さいろをろつこへろ考
(四) 二法ハ仏
法法の子ん
(五) 作あの
ろのまること
ろくびこ
(六) 考の人
あハ家考考こ
(七) 社学法のろろ
みくハつ一こけの且
ふとゆろのこと子ろ考こ

臺子教修抄

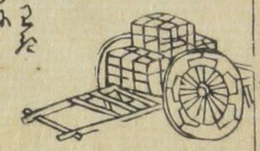
文貴人不居
顯露不游立
(二) 遇通途遇
有石事駁義
(三) 故子尚胸向
慎不顧左右
不問者不長
有仰者後聞
(四) 二宴座二禮
神明致再拜
(六) 人間成一禮
師恭可頂戴

過葉時則慎
向雲指之希
向聖教之上
人倫有禮者
人而無禮者
交友不離信
觸事不遠明

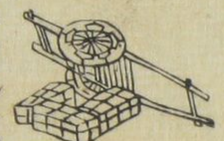
過社時則下
不可所不淨
不可敬世禮
朝廷必有法
寢中亦有己
事事老逸臣
信義不得離

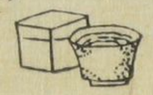
貧者品少
悔怠者多食
勇者必有危
況者亦無過
人身者付塵
人眼者無天
事以寸輔

老物如吠犬
疫病如貪欲
夏虫如入火
春鳥如遊林
密而勿傳云
隱而勿犯用
遊行千里法

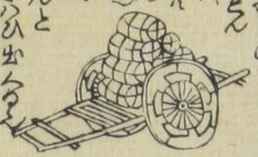


人仰二寸舌　破損天死
口量禍之門　舌長禍之根
使口如鞭子　終身敗事
過表一出駟　細過不過舌
白圭珠可磨　惡言玉難磨
禍福者無門　唯人在所招
天作災可逃　自作災難逃

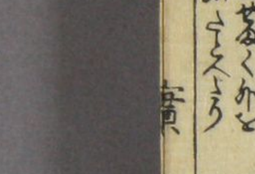




史積善之家　必有餘慶矣
又好惡之處　必有餘殃矣
人而有除德　必有陽報矣
人而有陰行　必有顯名矣
佞力壓國門　笑禍雲垂命
念力強感天　福祿月增光
心不同如面　修心如水通



不挽他人弓　不騎他人馬
若車之壞　後車之戒
非事之不忘　後事之師
若豆而石流　羅絡而網多
人死而留名　虎死而留皮
治國去賢臣　如偷竊寡矣
君子不養人　則民化怨矣



入境而問禁　入國而問風
入鄉而隨鄉　入俗而隨俗
入門先問諱　君親世私諱
愚者智者師　必可有迷憂
如用管寢天　似用針指地
神明將愚人　非敬為合懲

師西行第子　北惡爲合經
生而世貴者　獨修成智德
貴者不富　富者未必貴
泡沫心多欲　是名爲負人
雖貧心欲足　是名爲富人
師不利第子　是名爲破戒
師可責第子　是名持戒

重惡第子者　師第墮地獄
養善第子者　師第至佛果
不順教第子　罪不過父母
不和者擬宿　成怨敵加害
順惡人不逆　僕犬如週桂
則善人不離　犬紙如浮海
隨順善友者　如麻中逢麻

永

親近悪友者　如藪中荊曲
離祖付疎師　習戒定恵業
根性雖愚鈍　好自致学位
一日学一字　三百六十字
一字当千金　一点助他生
一日師不疎　況数年師乎
師者三世契　祖者一世睦

弟子去七尺　師影不可踏
観音為師孝　宝冠戴弥陀
勢至為親孝　頂戴父母骨
宝瓶納白骨　朝早起洗手
摂意誦経巻　夕遅寝洗足
静性案義理　習読不入意
如酔寝語言　読千巻不復

同じ見いめごとの用をなさねさく人なり
五十 匡衡は
もじくんを
ものも
もと
なるむ
くべをあぶる月の光を
かくのんま
五十一 孫敬は
ぐりんまる
みの人来れば
くるねすみる
更月をうて人の
あくことをせぼしたがくんせ
更をあを人なりせ臣しとえ
五十二 孫奈との人は
ぐりんまるふるいま
たなのものぐく
わぐるとと
のやと
かくく
ころかふ
きりをさ
かくまよりの紙
ろくみーとなり

五十三 学戦如陳所
思寒通病演
除机終月明
過食倦学文
如此記悔点
驚猛振月光
閉戸不出人

五十四 薄衣之冬病
多食之夏日
酔酒人狂乱
溺死湯睡眠
五十六 匡衡為病学
五十七 孫敬為学文
五十八 穏泰為学文

五十九 傍敬為学文
六十 車胤好病学
六十一 傍敬為学文
六十二 車胤好病学
六十三 雅利股不眠
倦頸頭ふ眠
雪屋蛍光
積雪月燈矣
六十四 宣士好病学
六十五 休穏入意文
六十六 不知鬼之病
六十七 高風入意文
六十八 不知書之流
六十九 劉完乙織家
七十 口頭書不息
七十一 傍敬為学文
七十二 車胤好病学
七十三 宣士好病学
七十四 休穏入意文

腰帯文不捨
盾矢好學文
遊戯頑學位
口順通論
腰帯挿文書
拓本德菓矣
古書学矣

世間人者清
文操満國家
徳聽鑒振筒
又剛弓射矢
張儀通新古
龍逢通史記
伯夷九徹初

猶如光音天
須彌山尚下
滄溟海還淺
赤肉者母淫
成五體身分
身心恒苦勞
蒙父母養育

父恩者高山
母德者深海
白骨者父淫
赤白二諦和
處胎内十月
生胎外數年
晝者居父膝

蒙乳哺多年
費乳味數斛
殺蹄養妻子
漁鱗資身命
日夜造惡業
多劫墮地獄
如樹鳥枯枝

夜者臥母懐
朝交于山野
暮臨于江海
爲資旦暮命
爲嗜朝夕味
戴恩不知恩
蒙德不思德

九二 姜詩母つるふ江のあをこのむふそのつまをまくらめさふまくむるふそのゆいよりぎふ

九三 董永のそふ百ふ行のあをのぞもろ者の中ふあるべきあるねバ董永ふ天ふむるひくうちるげくふしろのふたちまちあひ出る

九四 王祥の母かん中生うをのぞむみ川の魚ハとりえそうを祥

加野赤損兼
天雷裂其父
靈蛇吸其命
掘穴出金釜
泉涌出水沼
涼雲中接筍
墜深上涌魚

九五 丙吉行其父
九六 班婦焼蚤蝨
九七 郭巨為養母
九八 姜詩去月帰
九九 孟宗哭竹中
九十 王祥敬叩氷
九十一 蔡子順育父

ぜひ ゐく 氷の
ゐふ ゐ
ゐげ バ ゐ
ゐれ ゐ
ゐを ゐ
ゐう ゐ

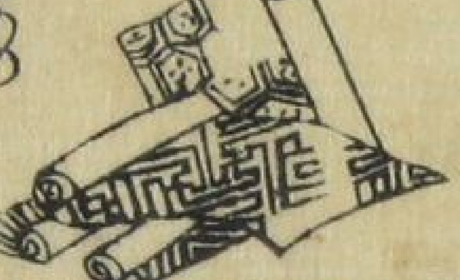
九十二 鼎ハ父の目のゐをゐ
ふちやかゐ
ゐげく ふかゐう
ゐふ ゐ
どゐ ふ眼ゐ
ゐく

九十三 刑渠ハそふまゐくを
ゐみくつふふあ
のゐ ゐ
九十四 董永ハ孝ゐるもをゐう
ゐる
ゐふ
ゐを
ゐの ゐ人
ふく ゐ
ゐり法
ゐを
ゐと
ゐを
ゐう ゐ
ゐつく ゐ
ゐふ ゐ
ゐふ ゐ
ゐを

涌泉周母眼
刑渠養老奴
董永賣一死
蟻食成齡若
孝養和尚
楊威念獨母
虎伏帰免害
顔駕養母去
馬生乗運埴
仲牧自化蓁
松柏種化蓁
世皆人者皆
父母孝養
仏神感感感

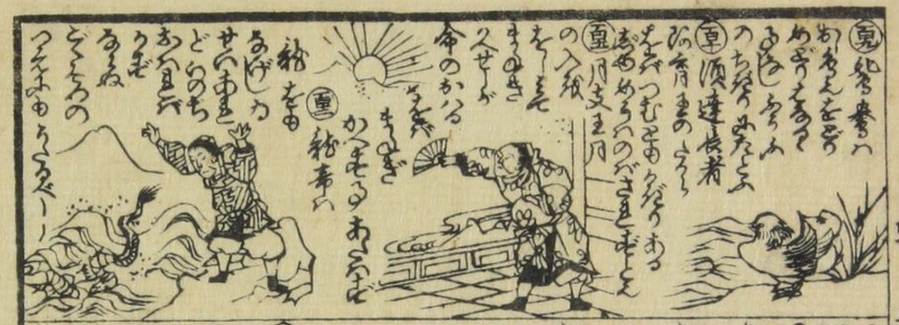
つくのひしとぞ
(九八)楊威父と山中にゆく虎出て父をくらはんとす楊威天にいのりければ…
(九九)郭巨…
(百)…松柏…
(百一)…
(百二)涅槃は…
(百三)煩悩は…
(百四)会者定離とは…

不望悲成就
生死命無常
早可欣涅槃
煩悩身不浄
速可求菩提
厭可厭娑婆
會者定離苦
恐可恐六道
生者必滅悲
壽命如蜉蝣
朝生夕死矣
身體如芭蕉
隨風易壞矣
綾羅錦繍者



(百五)六道は天上人間地獄餓鬼畜生修羅…
(百六)蜉蝣と…
(百七)綾は…羅は…錦…繍は…
…金銀珠玉官位…
(百八)亀は…鶴も…

全非冥途貯
黄金珠玉者
只一世財寶
榮花榮耀者
更非佛道資
官位寵職者
唯現世名聞
被亀鶴之契
露命不消程
重鴛鴦之衾
身體不惜間
忉利摩尼殿
致遷化世者
大梵高臺閣

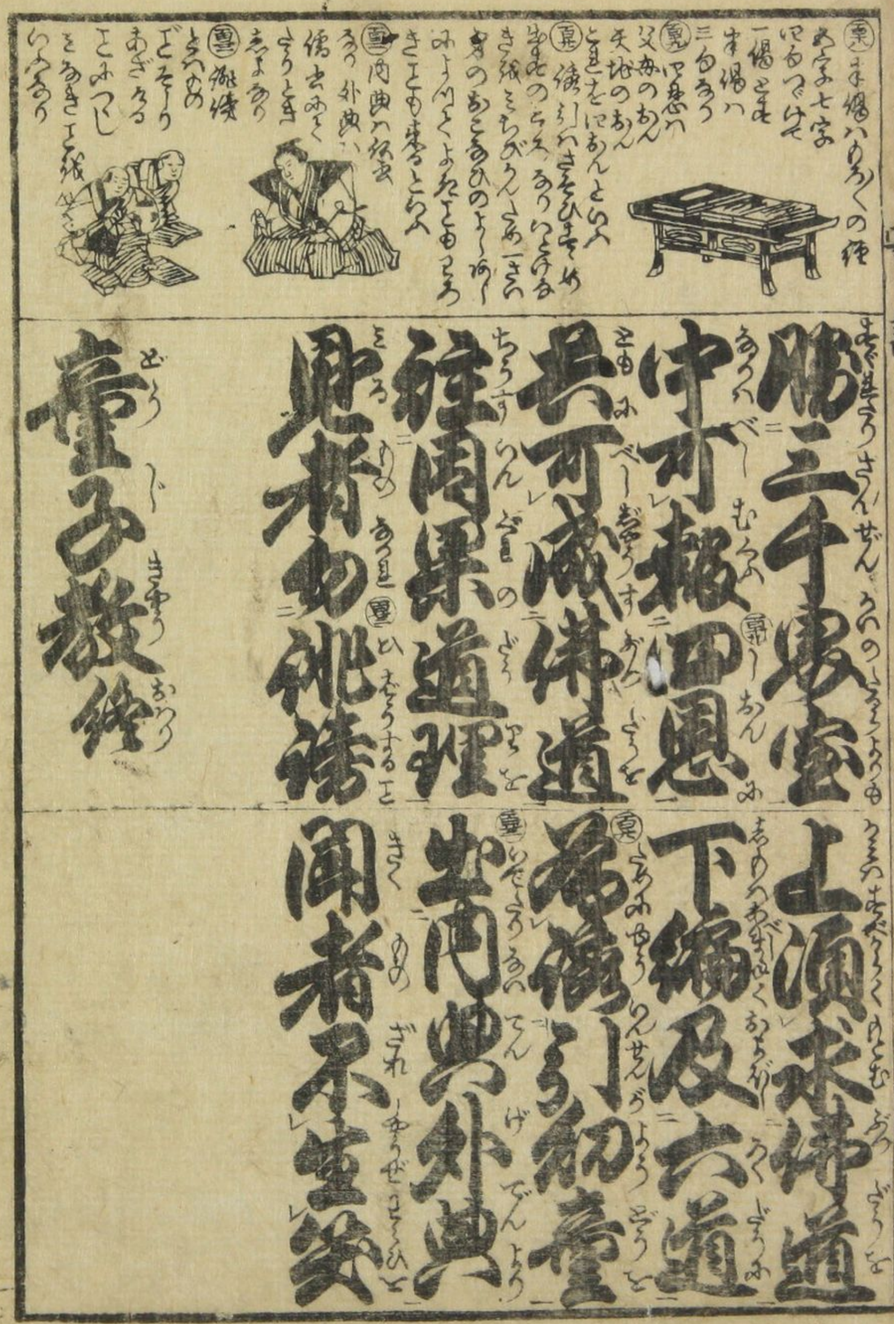


樂大無畏若
世間於常
世間於貴命
彼繩非使
彼打撤乖杖
布施之捲
財寶之捲

須達長者
西方之七寶
月支國月氏
能帝投能力
人元可行施
人撮不情財
若人貧窮死

布施施時
可生滅長仏
功德如大海
沼澤如芥子
平等黃金廣
速作達發
一切結愛力
如轉輪聖位

兒施布施時
樂仏施一人
福已施諸人
聚沙為塔人
折花供佛華
一切結愛力
半偈聞法德


勝三千東寶
上須求佛道
中可報四恩
下編及六道
長可成佛道
帝釋引初章
往因果道理
出門典外典
思者如鄉徒
聞者不生受
章句撥終

いろは乾の注
諸行無常
いろはにほへとちりぬるを
色匂散奴流
是生滅法
わかよたれそつねならむ
我世誰常
生滅滅已
うゐのおくやまけふこえて
有為奥山今越
寂滅為樂
あさきゆめみしゑひもせす
浅夢不為醉
十幹之圖
甲
乙
丙
丁
戊
己
庚
辛
壬
癸
十二支之圖
子
丑
寅
卯
辰
巳
午
未
申
酉
戌
亥
天保十四卯春新刻
萬延元申年冬再板
慶應三辰春求板
東京大門通難波町
鶴屋喜右衛門板

警命十三之九